

とも たの 偕に楽しむ 第15号

偕楽園公園を愛する市民の会
事務所
〒310-0845 水戸市吉沢町2-22
Tel・Fax 029-247-0438
ホームページ
<http://www.kairaku-en.jp/>

設立十周年記念 「偕楽園を愛する集い」

平成二十八年九月十八日、当会設立十周年を記念する「偕楽園を愛する集い」



会長あいさつ

を茨城県立青少年会館で開催しました。当初は記念式典を好文亭で、懇親会を偕楽園レストハウスで行う予定でしたが、参加申込が八〇人以上と想定を大きく上回ったため観光客等の迷惑にならないよう、直前に会場を変更しました。

親会を偕楽園レストハウスで行う予定でしたが、参加申込が八〇人以上と想定を大きく上回ったため観光客等の迷惑にならないよう、直前に会場を変更しました。

当日は大雨の中、一〇〇名近くの人が参加されました。式典では、ご来賓から挨拶

来賓あいさつ

雨の中、一〇〇名近くの人が参加されました。式典では、ご来賓から挨拶



記念講演 久野勝弥氏

をいただいた後、今回作成した年表「一〇年の歩み」と「写真で見える十年の歩み」を用いて湊正雄会長

が会の歩みを振り返りました。その中で、平成梅林の蹉跎のくだりでは多くの参加者が改めて無念な気持ちを思い起こしていました。

続いて、久野勝弥本会顧問の「水戸藩資料」より



歓談する高橋市長と会員

と題する記念講演がありました。久野氏は、斉昭公が藩内の老人を招いて催した「養老の宴」にかかわ

る資料「養老の記」を読んで解説しながら、資料の面白さと難しさを語ってくださいました。

式典終了後、同じ会場で来賓および会員の懇親会が開かれました。軽食・おつまみと飲み物で懇談を楽しみました。会員や招待者が一言ずつ述べ

る機会も設けられ、交流を深めました。しばらくして式典に所用で欠席された高橋靖水戸市長が参加され、歓談に加わられました。

平成二十八年年度通常総会

平成二十八年四月二十一日、茨城県三の丸庁舎大講



総会議事の様子

座室で通常総会を開催しました。会長あいさつ、来賓祝辞ののち、議事に入りました。

平成二十七年

度の活動報告、同決算報告を承認した後、役員改選を行いました。役員から顧問に二名、副会長に理事から二名、理事に一名が新任され少し若返って、平成二十八・二十九年度の会の活動を担うことになりました。

次に平成二十八年度の事業計画と予算案の審議。事業計画では魅力向上委員会が企画する事業の幾つかを偕楽園公園にかかわる活動を行っている七団体で構成する「偕楽園の魅力発

信プロジェクト」として実施することなどが提案され、承認されました。なお、直前に発生して大きな被害をもたらした熊本地震の義捐金募集に取り組むこととしました。

記念講演「地域遺産を活かすー世界遺産を目指す学問の府水戸ー」

総会に続いて、水戸市教育委員会歴史文化財課の関口慶久氏に「地域遺産を活かす」のタイトルで記念講演を行っていたきました。

関口氏は水戸市の弘道館・偕楽園ほか三つと他の三地域の施設が日本遺産第一号に認定された経過を振り返って、日本遺産ではまとまったストーリーがあることが大事であると指摘され、前年四月に認定された「近世日



記念講演 関口慶久氏

本教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー」は平成十九年度以来水戸市が世界遺産登録の取り組みの中で育まれた

ものだと指摘されました。そして、最近の世界遺産の状況や水戸市の世界遺産登録を目指した取り組みなどを紹介してくださいました。

活動報告

「新緑の沢渡川ウォーク」

魅力向上委員会

平成二十八年四月三十日、前年の桜川緑地に続き、偕楽園公園魅力再発見ウォークの第二弾として「新緑の沢渡川を歩こう」という名の観察会を、二五名の参加者で行いました。偕楽園公園センター前に集合後、梅桜橋を渡り西門を通って歴史館下の蓮池に行きます。



蓮池のフェンスの外は常磐線

そこからフェンスの小門を通ると東町運動公園下の沢渡川緑地に抜けられます。ここから川沿いの道を進むと常磐大学下の緑地

北端の公園まで歩けます。この道を茨城県北ジョパークの西



運動公園下を歩く

原昇治氏の案内で歩きました。緑地は両側の崖下を除くと未整備ですが、東町運動公園の工事ではとんど埋め立てられた状態でした。今後の変化が気になりました。ウォーク終了後公園センター会議

室で、茨城県河川課の萩谷氏から沢渡川の今後について説明を受けました。沢渡川は、大雨時の道路や偕楽園への浸水対策が緊急の課題で、現在偕楽園下の増水対策工事を行っていること、沢渡川緑地には常磐線の南側に沢渡川の水を流す捷水路を作る計画があるが、着手していない、ということでした。

会報「偕に楽しむ」第14号発行

研修委員会

平成二十八年四月二十日、会報「偕に楽しむ」第14号を発行しました。読みやすく機敏に発行できるように、B4版裏表の二ページで、字を大きくしています。翌日の総会で配布、欠席の方には、後日総会資料と一緒に郵送しました。

インターネットのホームページからPDF版を見ることが出来ます。また、掲載写真を少し大きいサイズで見ることが出来ます。

展示とワークショップ 偕楽園魅力発信、歴史が息づく自然空間の魅力、

偕楽園公園魅力発信プロジェクト

平成二十八年五月十七日(火)から

二十一日(日)の一

週間、偕楽園公園にかかわりのある活動を行っている七団体が偕楽園公園センターを主な舞台として展示と



展示のようす

展示のようす



スタンプラリー

ワークショップを開催しました。センターのギャラリーでは「歴史が息づく自然空間の魅力」をテーマにパネル展示を行いました。各団体の特徴を生かした写真やパネルを展示、二〇人以上の来館者がありました。イベントは、二十一日(土)・二十二日(日)の両日に、スタンプラリー九名(偕楽園の水を訪ねて、偕楽園本園内)、木の实工作三名(作って楽しむ木の实や枝で可愛い動物が出来るよ、センター会議室、偕楽園の不思議発見!一四名(新緑の中を散策しながら謎に迫る、偕楽園公園内)、茶の湯を楽しもう一二五名(伝統文化と一緒に体験し、楽しみましょう、遠州流・江戸千家、偕楽園見晴亭)がありました。



木の实工作

季節がよく比較的人出の多い時期で、見晴亭も活用したことで、スタンプラリーや茶の湯は例年以上の参加者がありました。七団体は今後「偕楽



茶の湯(見晴亭にて)

ました。参加者は二八名で、もみじ谷の紅葉、歴史館のイチウとメタセコイアの黄葉など見事な景観を楽しみました。こんな身近なところに紅葉があることに感動していました。

園公園魅力発信プロジェクト」という緩やかな協力団体を組織して、この行事以外にも偕楽園公園の魅力発信に協力し合うことになりました。

「偕楽園公園紅葉狩りウォーク」

魅力向上委員会

意外と知られていませんが、偕楽園公園には、もみじ谷や歴史館のイチウ並木などもみじの見所があります。



一月十四日(月)、花壇の手入れでひと汗かいた後、豚汁とおにぎりの軽食で交流会をもちます。それから公園センター↓もみじ谷↓桜山↓歴史館↓偕楽園 ↓公園センターのコースを歴史アドバイザーの会員らの得意の説明を聞きつつ歩きました。



もみじ谷でパチリ

また、

ました。

参加者は二八名で、もみじ谷の紅葉、歴史館のイチウとメタセコイア

偕楽園西門の前で

ウとメタセコイアの黄葉など見事な景観を楽しみました。こんな身近なところに紅葉があることに感動していました。



「弘道館 親と子の論語塾」

論語委員会

平成二十八年年度の論語塾は前年と同様毎月第一土曜日に開きました。一月も開校したので年間一二回です。会場は十二月まで弘道館至善堂で、一月〜三月が茨城県三の丸庁舎会議室となりました。十二月も弘道館で行いました。



28 年 9 月弘道館至善堂

また、開校当初テキストにしていた『子ども論語塾』（明治書院）の三冊が絶版になったので、『心を育てる子ども論語塾』を使うようになりました。先生はこのテキストと一章を一枚のカードに書いたものを使って子どもに素読を選ばせます。

今年度受講の子どもは活発で、先生の質問にもよく反応し、一人での素読も積極的です。復旧なった弘道館へ戻って三年目、その成果が表れたのでしょうか。



29 年 1 月三の丸庁舎

一方、受講生の確保や財政の安定など永続のための課題がはつき



昼食会で記念写真

りした一年でした。十二月三日の論語塾終了後、先生と昼食会を持ちました。論語塾の運営に携わっている会員がそれぞれの思いを語りました。先生からも「弘道館 親と子の論語塾」には思い入れがあることなどを伺いました。

安岡先生が平成二十九年二月四日水戸市が開催した「日本遺産講演会」に参加されることになったので、受講者の有志が三の丸小学校の児童と一緒に壇上で論語の素読を披露しました。今や論語塾は日本遺産第一号の弘道館の教育機関としての意義を継承する活動として高く評価されています。



壇上で素読を披露

「偕楽園公園花づくりパートナー活動」は環境委員会に代わって魅力向上委員会が担当となり、これまでの年二回の植え替えでなく、宿根草を中心とした和風花壇を作ることになりました。そのた

偕楽園公園花づくりパートナー活動

魅力向上委員会



「偕楽園公園花づくりパートナー活動」は環境委員会に代わって魅力向上委員会が担当となり、これまでの年二回の植え替えでなく、宿根草を中心とした和風花壇を作ることになりました。そのた



め、毎月一回花壇の世話を行う活動日を設けることとし、第二月曜日午前に集まりました。

また、この活動を大好きいばらき県民会議の「地方創生応援事業」に「花サポータークラブ」の事業として応募し一〇万円の補助をいただきました。この資金は花壇の経費のほか、ニュースポーツ体験、紅葉狩り、薬膳料理学習、薬草園の講話などに使いました。

「ニュースポーツ体験講座」

魅力向上委員会

平成二十八年十月十日の体育の日、偕楽園公園広場で「ニュースポーツを体験しよう」という講座を開きました。



ニュースポーツを楽しむ

「NPO 法人わくわくニュースポーツクラブ」の指導で、通りがかった家族連れなども含めて約五〇人が、ラダーゲッター・バツゴ・グラウンドゴルフの三つで楽しい時間を過ごしました。

研修会「偕楽園公園（千波公園）整備基本計画」

魅力向上委員会

平成二十九年二月十三日、偕楽園公園センターで、水戸市公園緑地課



討論のようす

の加藤氏と宮川氏を招いて、二十八年五月に策定した千波公園整備計画について報告してもらいました。計画は千波公園のエリアやゾーニングの見直しをふまえた観光交流拠点としての整備などかなり詳細なもので、熱のこもった討論がありました。

「薬膳料理と薬草園」

魅力向上委員会

平成二十九年二月二十一日。水戸市植物公園で役員会終了後、西川綾子園長を招き、「未来をつなげる水戸藩の薬草」と題して、植物公園や西の谷など水戸市がかわる薬草園の今後の計画について講話をしていただきました。その後薬膳カレーの昼食を味わいました。



西川園長の講演

「第二回大名庭園サミット熊本大会」中止

交流委員会

大名庭園サミットは前年第一〇回大会を初回と同じ金沢で開き、第一回を新加入の熊本で開く予定でした。しかし熊本地震で、大名庭園の水前寺成就園はじめ多くの施設が被害を受けたため、中止となりました。

本年度の活動計画

「逆川流域ウォーキング」開催

魅力向上委員会

一昨年の桜川から始まった偕楽園公園内緑地探検第三弾として、今年は逆川流域を西原昇治氏と水戸市公園緑地課職員の案内で観察します。終了後、光岡公の歴史資産である笠原水道をどう残し活かすか。整備がほぼ終わった逆川緑地の今後の活用などについて懇談会を行います。

第15号 偕に楽しむ



ほぼ終わった逆川緑地の今後の活用などについて懇談会を行います。

一三時

集合場所：笠原水源広場

費用：二〇〇円(おにぎり代)

展示とワークショップ 偕楽園魅力発信 Part II プラタモリもつと知りたい！偕楽園

魅力向上委員会

20日 NHKで「プラタモリ 水戸」が放映され、水戸黄門さまが水戸藩の「あるものを有効利用」する精神で笠原水道を作ったことがわかりました。齊昭公が造った弘道館・偕楽園にもその精神が受け継がれ、たくさ



んの工夫や思いが込められています。ジオパーク水戸大洗が加わって八団体となった魅力発信プロジェクトでは、それぞれの視点から「あるもの」や有効利用のさまをさぐる展示とワークショップを企画します。

日時：平成二十九年六月二十日

場所：偕楽園公園センターギャラリー

029-241-5454

偕楽園公園「花パトナー」活動

魅力向上委員会

宿根草を中心とした花苗で自然な日本らしい花壇を昨年から造り始めています。今年も毎月一回除草、植栽、給水などの作業をします。

日：毎月第二月曜日

時：九時～一〇時 (五月～一〇月) 九時半～一〇時半 (十一月・三

四月)

偕に楽しむ活動作業終了後、公園広場にてニュースポーツ、ボスチャールウォーキング、リハビリ体操など参加者の交流活動を行います。

「紅葉狩りウォーキング」

魅力向上委員会

晩秋の十一月、偕楽園公園に紅葉

を訪ね歩きます。

日時：集合場所未定

「弘道館 親と子の論語塾」

論語委員会

平成二十一年八月一日に開校した「弘道館 親と子の論語塾」は、弘道館を会場に、引き続き九期目を実施します。

日時：毎月第一土曜日

一〇時半～一一時半

場所：四月～十二月 弘道館至善堂

一月～三月 茨城県水戸生涯学習センター講座室

講師：安岡定子先生

対象：子どもと保護者(大人のみの参加可)

募集人員：一〇〇名

受講料：一家族一回一〇〇〇円

テキスト：『心を育てることも論語塾』

ポプラ社(税別一〇〇〇円)

「大名庭園サミット岡山大会」

「大名庭園サミット岡山大会」は、岡山県内各地の名庭園を巡り、その魅力を発信する大会です。今年も、岡山県内各地の名庭園を巡り、その魅力を発信する大会です。今年も、岡山県内各地の名庭園を巡り、その魅力を発信する大会です。

「大名庭園サミット岡山大会」 交流委員会、昨年熊本地震のため中止となった

第十一回大名庭園サミットを岡山後楽園で開催することになりました。第十回の金沢兼六園に続く二順目となります。本会の提案した世界遺産登録がテーマ(案)になっています。二順目とすると次は水戸の番です。積極的に参加したいと思っています。大会テーマ(案)：大名庭園を世界の遺産に(世界遺産・日本遺産登録を目指して)

日程：平成二十九年十月二十六日～二十七日

場所：岡山後楽園など

「偕楽園秋の交流会」

交流委員会

偕楽園公園の魅力をもっと広く市民に知ってもらうため、昨年の十周年記念の懇談会にならって、交流の機会を持ちたいと思います。他の団体とも協力して、散策・勉強会などのイベントを組み合わせる懇談会です。

日時：集合場所未定

報告・提言集の作成 「偕楽園公園魅力アップを考える」

当会は、この三年間魅力向上委員会を中心に偕楽園公園の現状を歩いて確かめ、県や市の整備計画についても学んできました。これらを踏まえて、現状認識と将来への提言をまとめたと思います。

提案がある方、参加したい方は魅力向上委員会まで連絡ください。日程、集合場所等未定